

## 2022 年度上半期事業報告書

1. 概況				
<p>前年の釧路教育委員会の活動の延期により、学習会実施とフィールドへの保全活動実施が 1 年ずれて進めている。</p> <p>学習会実施は小学校および教育委員会にお声がけと説明をしている状況。まだいくつか調整中であるが、その内の 1 つは来年度に他の団体に協力するかたちで参加をすることが見込める。</p> <p>また、学習会実施を児童の集りでできるように、楽しく学べるゲームを制作準備している。このゲームを通して、自然を考え、他の子どもたちと意見交換をできるように整え、児童館やイベントに案内を来年する予定で進めている。</p> <p>フィールド保全活動はフィールドの確保をするため、団体にお声がけをして視察をしている。</p>				
1) 学習支援	<p>標茶教育委員および標茶小学校への説明と提案を実施する。標茶小学校のレスポンスまち。</p> <p>霧多布ナショナルトラストへの活動の案内をし、協議をする。次年度には小学校の学習会に参加をし、協業することを了解いただける。</p> <p>フィールド確保地近辺の釧路町立遠矢小中学校に提案をする準備中。</p>			
2) 子どもの考え実現のための研究	<p>小学校だけでなく、児童館等の子どもの集まりで学習会および意見交換が実施できるように、誰でも楽しめるゲームを制作中。</p> <p>このゲームを釧路プロジェクトの中で、活用する予定。</p>			
3) 自然保全支援	<p>トラストサルン釧路および霧多布ナショナルトラストと打合せをし、フィールドの活用の理解をいただく。次年度は両団体保有のフィールドの活用を検討予定。特に、釧路湿原周辺の釧路町遠矢フィールドを企画作成中。</p>			
人員構成・広報				
人員構成	会員数	7 人	役員数	3 人
	有給スタッフ	0 人	ボランティア数	0 人
URL	<a href="https://www.ce-n.org">https://www.ce-n.org</a>			

## 1、活動内容について

### ■ 2022 年 4 月～2022 年 9 月現在までの期間での活動

時期	市民公益活動に関する事業	組織基盤の強化に関する活動
4月	標茶町教育委員会と学習会打合せ	
5月	楽しく考える環境ゲーム企画開始	環境ゲーム開発アウトプット実施 団体年次事業報告書発行
6月	楽しく考える環境ゲーム企画	環境ゲーム開発アウトプット実施 法人年度末報告対応および継続申請対応 助成金申請（A 団体）
7月	滋賀県立大学とのプロジェクト打合せ 霧多布ナショナルトラストとの活動 協業の打合せ	助成金申請（B 団体）
8月	トラストサルン釧路との活動協業の 打合せ	助成金申請（C 団体）
9月	霧多布、釧路の現地視察と協業団体活 動調整	助成金説明会実施（C 団体）

## 2、目標への取り組み・達成度について

■当初の目標 ※当初設定した目標が達成できたものに○印を記述

○印	目標とした取り組み
	小学校に SDGs 授業を定着させ、子ども自身が自然環境について考え、行動を起こす支援を行う。
	子どもが考えた、環境づくり提案を基に、新たな価値や行動を創り出す研究を支援する。今年度は、研究取組のための基盤構築を行う。(企画作成)
	子どもが考えた、環境づくり提案を、地域や企業に紹介し実現させる。今年度は企業や地域にパイプを作る。(北海道中心に)

■2022 年 4 月～2022 年 9 月現在までの期間で、目標達成のために特に努力したこと

1	子どもが考えた、環境づくり提案を、地域や企業に紹介し実現させるためのフィールド確保。
2	小学校以外の子どもの集まりに学習会を実施する。
3	次年度（令和 5 年度）活動のための計画づくり

■計画していたけれども取り組めなかった活動や積み残した課題とその理由  
 活動の実施、課題解決のために必要な取組み

取り組めなかったこと、積み残した課題	理由／解決のための取組み
小学校の学習会実施	コロナ影響により、小学校の学習会実施は新たに組み込むことが難しい状況。 小学校でなく、児童の集まる場所（学童保育や子ども食堂）で学習会実施を模索中

■取り組みや改善を進める中で、新たに出てきた課題  
 また、課題に取り組めるための必要なサポート

新たな課題	「必要だ」「あれば嬉しい」と感じるサポート
学習会支援のための協業パイプ	小学校で学習会を希望しているところをご紹介いただきたい
子どもが集まる支援やコミュニティとのパイプ	子ども食堂などの子どものための活動をする団体をご紹介いただきたい
寄付や会員募集	昨年同様、寄付や会員募集のイベントがあればご紹介いただきたい

### 3、事業規模の広がりについて

■ボランティアや支援者・会員の新たな獲得、運営を担うメンバーのスキル獲得など、団体を支える人々の広がり、あるいは停滞・減少・縮小について

ボランティアについて	<p>&lt;人数や関わり方の変化&gt;</p> <p>学習会実施に伴い、ファシリテーターの柔軟な確保が必要になってくる。声をかける人数の増員が急務になっている。</p>
支援者・会員等	<p>&lt;新たに支援者&gt;</p> <p>サイトを充実させたが、なかなか支援者増員にいたっていない。獲得プロモーションを考えて行く予定。</p>
運営を中心的に担うメンバーについて	<p>&lt;意識変化や向上したスキル&gt;</p> <p>前年と同様、2名がメインで活動。得意分野の担当を依頼した他2名の4名体制で実施</p>
事業の参加者数など	<p>&lt;狙いとしていた対象層の参加がどれくらいあったか&gt;</p> <p>支援：京都大学、北海道大学、北海道教育大学、滋賀県立大学 協力団体：釧路湿原再生協議会、霧多布ナショナルトラスト、トラストサルン釧路</p>
その他	<p>&lt;上記の他、活動に変化があったこと&gt;</p> <p>小学校を対象に学習会開催を調整していたこともあり、コロナの影響で本年度の開催は難しくなっている。小学校以外の子どもの集まりでの学習会実施を重点にした活動にした組み立てに変更中</p>